



霊力を失い心身共に限界を迎えたカグヤは
遂に自ら快楽を貪るように腰を振り始める...

乳首ハイブ、クリトリス電極責め、股縄擦り
絶え間なく拷問のような変態プレイを続けられ...

退魔士カグヤ極5

DEVIL EXECUTIONER KAGUYA

退魔士カグヤ極5

フフフ
カグヤちゃん
おめでとう

次の相手が
見つかったよ？

前は
ナカに出してくれなくて
残念だったけど

今回はアプリで
募集をかけて
条件にあう男を
選んでおいたから

ちゃんと
たつぷりと
中に出してもらえ
るはずだよ

ホテルも
全部
準備しておいたから

あとはただ
生でやればいい
だけだよ

フフフ...



霊力を復活させるためには
男性の精液を
膣内に出してもらわないと
いけない

その条件を
クリアするために

私は
ジエに言われるがままに
ホテルに赴いて

アプリで募集したという
見知らぬ男性と
対面して…

おお
キミが
カグヤちゃん？

写真で見るより
ずっとかわいいね

……

グハッ…

グッ





おっばいも
おっきいし…
ゲヘヘ
ホントに3万円で
いいの？

なんかお金は
ショートカットの
妖しいお姉さんに
渡しておいたけど
アレで良かったの？

は…はい…

私…今から
この人に…



カグヤちゃんは
普段は
何をやってるの？

大学生？

緊張してるね？

こういうの
初めてなの？

あ…
えっと…

ちよっと
生理的に
受け付けないおじさん
だけど…



この際もう
何でもいい

ここまで来たら
覚悟を決めるしかない



こんな
くだらないこと
一刻も早く
終わらせる……!!

あ…あの…

生で入れて
いいですから

早く
中に出してください



さっさと
終わらせて
お金だけ
もらって帰ろうっていう…

そういう態度は
良くないよ?

えっ…?

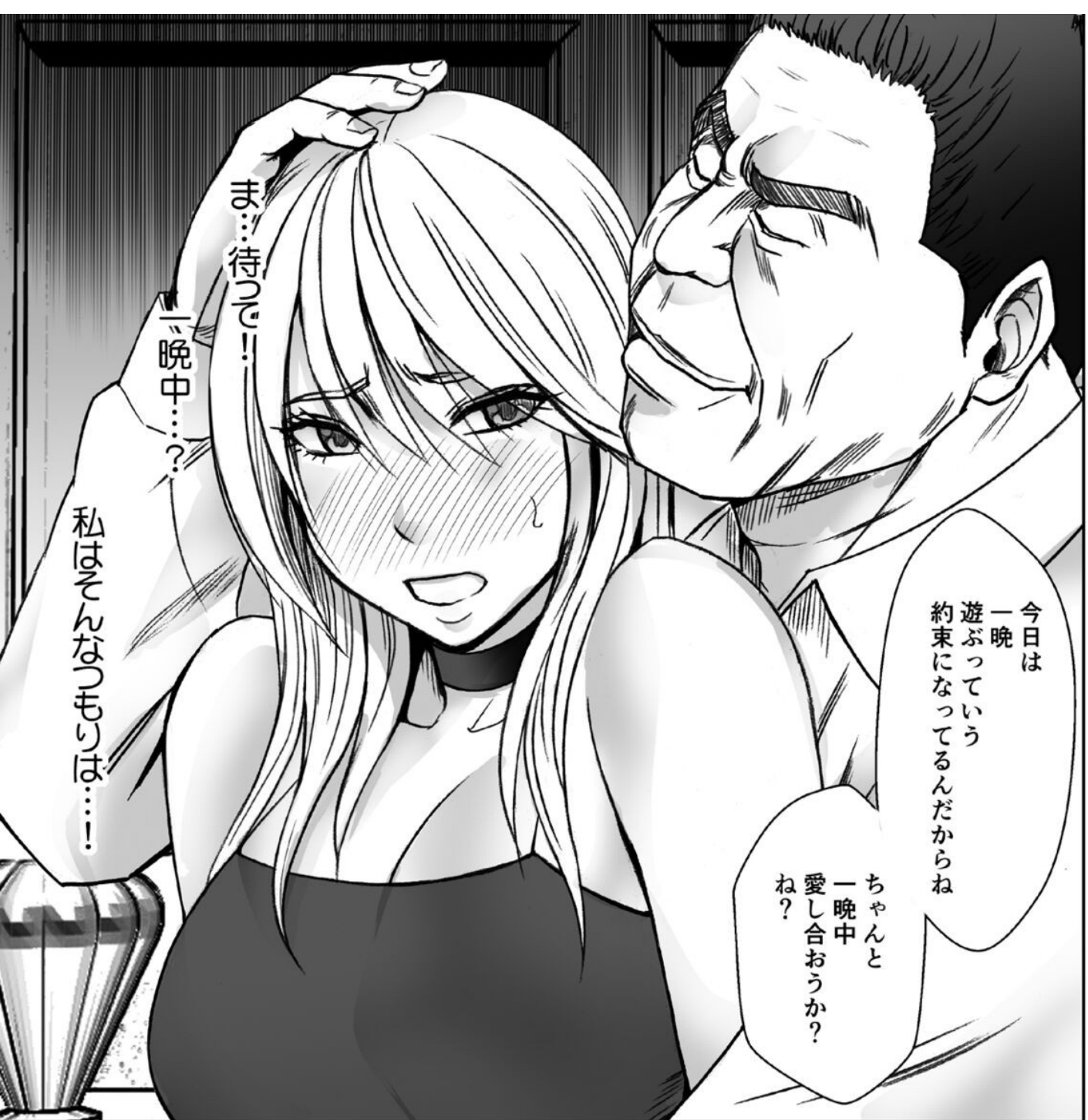
……!?



……



ダメだねえ





おやおや？

カグヤちゃん
敏感なカラダ
してるじゃない

くっ…！

ダメだ！

もみ
もみ

もみ
もみ

もみ
もみ

紹介文に
書いてた通りだねえ

やつぱり
淫水の効果が
全然消えてない！



全身ビンカンで
乳首でもイッちゃいます
みたいにな
書いてたけど

ホントかな？

霊力が無いから
自然回復できなくて…！！

もみ
もみ

ズット
敏感なままで…！！

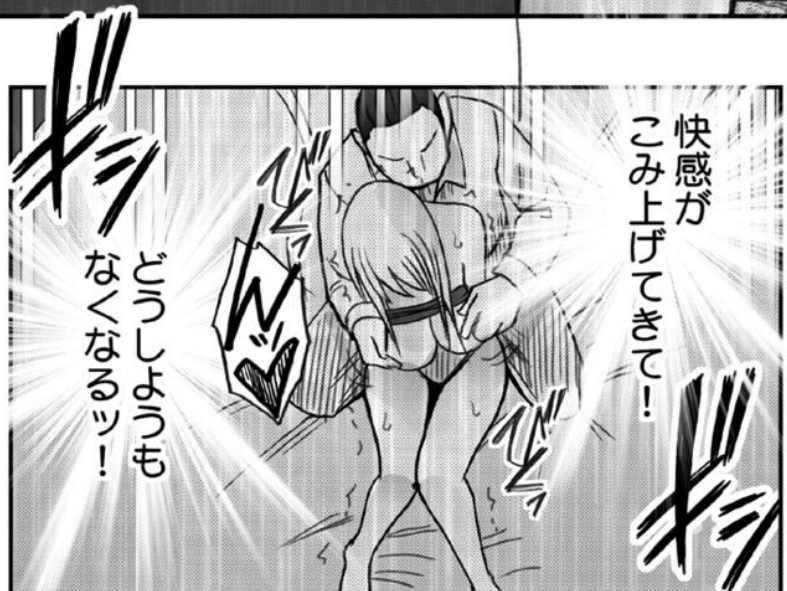


ほれほれ

イッチャウのかな?
イッチャウのかな?

ああ!

あつあつ!!

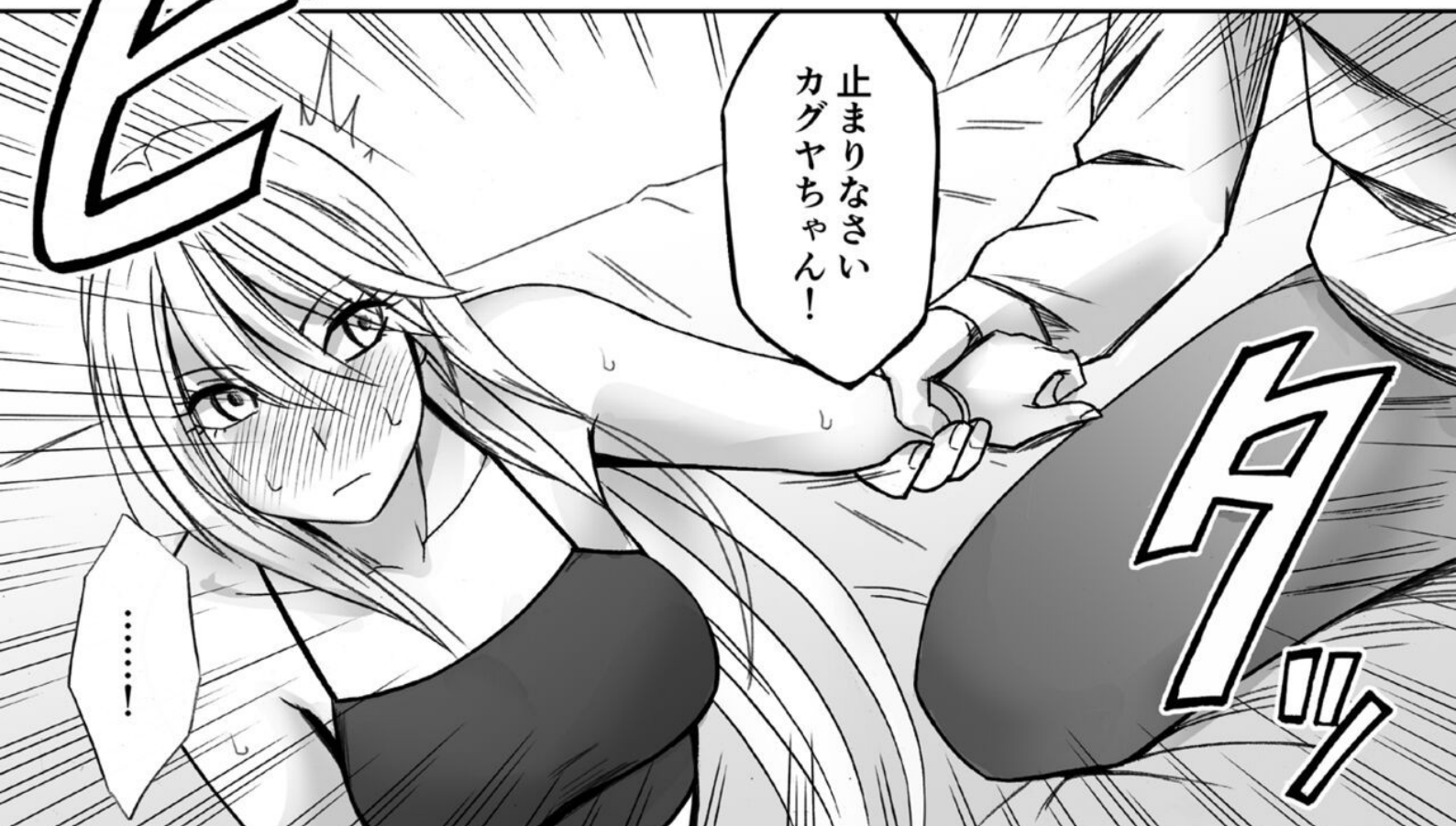


快感が
こみ上げてきて!

どうしようも
なくなるッ!









あのと
き
み
た
い
な

命
令
を
断
れ
な
く
な
る
呪
い
が
発
動
し
て
る
？

ち
よ
つ
と
オ
モ
チ
ヤ
を
大
量
に
見
て
ビ
ツ
ク
リ
し
ち
や
っ
た
か
な
？

ウ
ブ
な
ん
だ
ね
か
わ
い
い
ね
え

大
丈
夫
何
も
怖
が
る
こ
と
な
い
よ
？

ほ
ら

足
を
開
き
な
さい





ちよっとだけ
恥ずかしいのを
我慢して

中に吐きせて

それで終わらだど
思ってたのに…!!

もたもた

ズンズン

ズンズン

よりによって
こんなヘンタイな
男の人に…!!

しかも
命令に逆らえない
状況にされて…!!



相手は
ただの人間の
男の人だから

妖魔じゃない
から

ただ耐えていれば
終わる……!

そう
だったとしても……!

私の理性は……

最後まで
保てるの……!?





このカラダは…！

そうそう
そのまま
手を上にあげたままでね

妖魔の淫水で
淫らにされた
状態だから…！

手を降ろしちゃったら
オシオキだよオ？

妖力の快感を
受け続けて…！

気持ちよく
なりすぎて…！

いつもみたいに
霊力の抵抗を
することもできないし……!

身体的な抵抗も
『命令の呪い』で
抑えられて……!

絶対に無理……!

快感に勝てない!





負ける！

負け続ける！

あー

あー

あー

あー

あー

んんん

んんん

んんん

んんん

こんな
拷問を…!!

快感の拷問を…!!

何の抵抗もできず
長時間…

一方的に
受けてた啦!

卷二

コロコロまで
陥落してしまうっ！

本当に
この人の言うとおりに

お願い……!

もう……!

もう……!

10時間も
続けられたら……!

もう
絶対に……!





早く…!!

早く
入れてください…!!

あ



ダメダメ
言ったでしょ?

10時間
遊ぶって

おちんちん
入れるのは
最後の楽しみに
取っておこうねェ♪

700
700

ピッ
ピッ

カグヤちゃんの
アソコを
トロトロに
溶かして

じっくり
たっぷり
準備してから

サイコーの状態
でハメようね
エゲヘヘ



もしかして
これもジューのいわせー？

こいつ男だと分かってて
あえて私に……？



分からない…!!

私…どうしたいの…??

大股開きで
パイプ突っ込まれたまま
乳首でイキまくってる
カグヤちゃん
かわいいよ♪



仕方なかった
とはいえ

ジエの
言うとおりに
してしまったのが
間違いだった

体力あるねえ
カグやちゃん

何時間も
イキつづけてるのに
まだまだ
反応がイイ♡

そのホテルは
やっぱりジエが
いろいろ仕込んでいた
みたいで

シャワーから出る水にも
淫水の成分が
含まれてて

シャワーを浴びるたびに
ますます
カラダが敏感になっていつて



これ以上
浴びたら
まずいつて
分かつていても

『命令の呪い』のせいで
逃げられなくて

ほら
壁に手をついて
お尻を突き出して

ズル

ズル

グイッ

びく

カラダの隅々まで
淫水を
染み込まされて

ぬい

お尻の穴も
しっかり
洗ってあげるね

あとで
お尻の穴でも
遊ぼうねえ

びく

ん

そこから
さらに

湯船に
入りながら
愛撫され始めて

当然
湯水にも
たつぷりと淫水が
含まれている

浸かっているだけで
どんどん皮膚から
淫らな成分を
吸収することになって





それを
一時間近く
続けられ

感度がもう
異常な状態になって

霊力による
障壁が何もない
カラダは

完全に
淫水の悪魔的な
快楽に支配されて…

ああ！

これはダメ！

霊力の防御なしで
淫水に浸けられっぱなしに
されるのは…！

危険すぎる！

お風呂に
入りはじめてから
ますます敏感に
なってるね？

何かこのお風呂の水
粘りついてくるような
不思議な感じが
あるよねえ？

この人にも
私が気持ちよく
なり続けてるのが
バレてる！

何とか
この状況だけでも!

淫水からだけでも
脱出しないと!

これ以上
淫水に浸かり続けたら
もう!

そんなに気持ちイイのなら
もっともっと乳首を苛めて
あげるよ♡



アタマもカラダも
おかしくなってる…!!

取り返しが
つかなくなるッ!



フフフ
いいだろう

そろそろ
入れてあげようか

ただし
指定した服を
着てもらう

しかも
撮影しながら…
それでいいね?

は…はい!
それでいいですッ!



でも
乳首ヌルヌルで
イキまくる
カグヤちゃんか
かわいすぎるから

最後に一回だけ
乳首イキ
しておこうね♪

ズンズンズン



退魔士カグヤ極5

後編

そして私は
カメラに囲まれた
部屋で

男の指定してきた
服に着替え
させられて…

いいねえ

似合ってるよ
カグヤちゃん

ムキ
ムキ

約束した以上
どんな変態的な
要求でも
聞くしかなくて…

ムキ
ムキ



ナカに
欲しいんだったよね
カグヤちゃん

ああ…ダメだ…!!

いいよ
これから

そのエロいカラダに
入れまくって

淫水のお風呂から
逃げれば
なんとかなるって
思ってたけど…

たつぷりと
ナカに出してあげるよ♪

全然カラダが
元に戻らない…!!

ドキ
ドキ

お風呂から上がった後も
全然火照りが取れなくて…!!

むしろ
皮膚から吸収した
淫水の成分が
染みわたってきて…!!

Hなコスプレ
させられて

カグヤちゃんも
気分が高揚して
きたんじゃないの？

体の隅々まで
おかしくなってきた…!!

でも…
あと少し…!!

あと少しで
終わるから…!!

あと少しで
終わる

挿入されて
中に出されれば
終わる

そう
思っていたけど

次に命じられたのは

フェラチオで…

好き♡
好き♡



淫水で
火照らされ

いやらしい服を
着せられて

完全にその態勢に
なっていた私のカラダは

男のモノを
しゃぶるだけで

これから
このチ○ポが
カグヤちゃんの
中に入るんだよ？

まるで
入れられてるかのような
錯覚を受けて



まだ入れられでも
ないのに……!!

びく

びく

アソコが勝手に
動いて……!!

姉♡姉♡

エエ

エエ

お

脳イキが
止まらない……!!



よしよし
いいだろう
じゃあ
そのまま

グッ

起き上がって
こっちに来なさい

ゆっくりと
自分から
腰を落として

やっ！

グッ

グッ

入れなさい

ああ…！

グッ

ズル♡

入る…！

入る…！

中…！

……！



あああ……!

ほら
待望のチ●ポだよ?

気持ちいいかい?

欲しくない!

コレが
欲しかったんだろう?

こんなの
欲しくなんてない……ッ
けど……!

ちゅ……!

ちゅ……!

ぐっしょりもないくらい 気持ちいいッ！

ああああ

気持ちいい！

気持ちいいー!

ガッ

グッ

ガッ

気持ちいいー!

ぐっしょりもないくらい 気持ちいいッ！

ああああ

気持ちいい！



ここに来たときは
さっさと入れて
ナカに出してください
みたいな

淡泊な感じ
だったけど

どうだい？



じっくりと
セックスを愉しむのも
悪くないだろう？

私は…！

精液を回収に来ただけ…！

それだけ…！

セックスを愉しむとか…

気持ちよくなるとか…

そんなの…！

全然
求めてないのに…！



ああ…！

ダメ！

これはダメ！

ハッ
ハッ

ダメ！

ダメ！

グ
グ
グ

グ
グ
グ



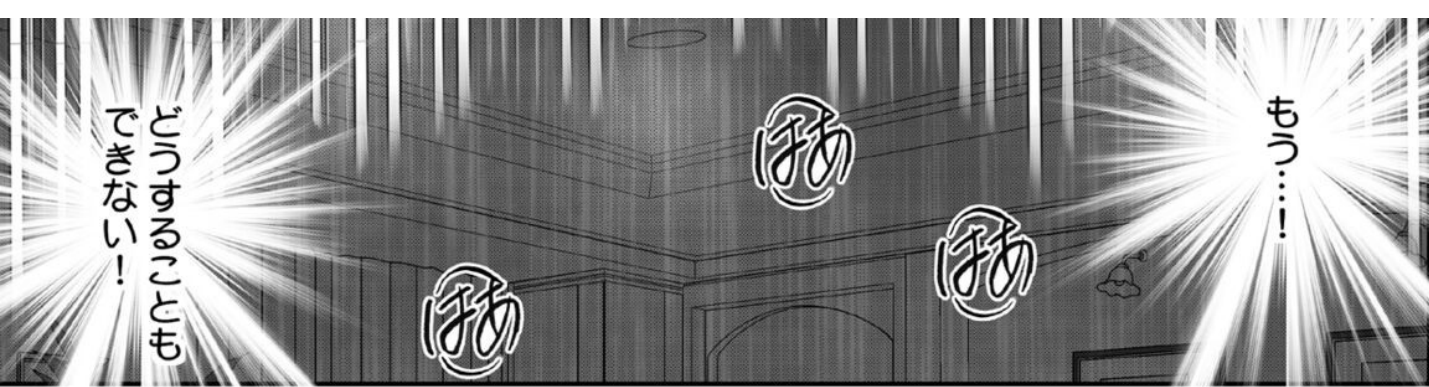


恥ずかしい格好で…!!

情けないカオで…!!

イカされま〜んてえ!!





どうすることも
できない！

あ

あ

もう…！



フフフ
自分から腰
動かしちゃってるよ？

もう完全に
おじさんのチ●ポの
いいなりだねえ？

全部
いいなりになつて…！

エッチに興味ない
フリしてたけど

ホントは
エッチ大好きな
女の子だったんじゃないの？

何も否定
できないッ！

びく

びく

びく

びく

びく

こんなはずじゃ
なかったのに...!!

カグヤちゃん
完全に快感に
負けちゃったかな？

ズン
ズン

カグヤ
カグヤ

こんなのはすじゃ
なかつたのに...!!

カグヤちゃん
完全に快感に
負けちゃったかな?

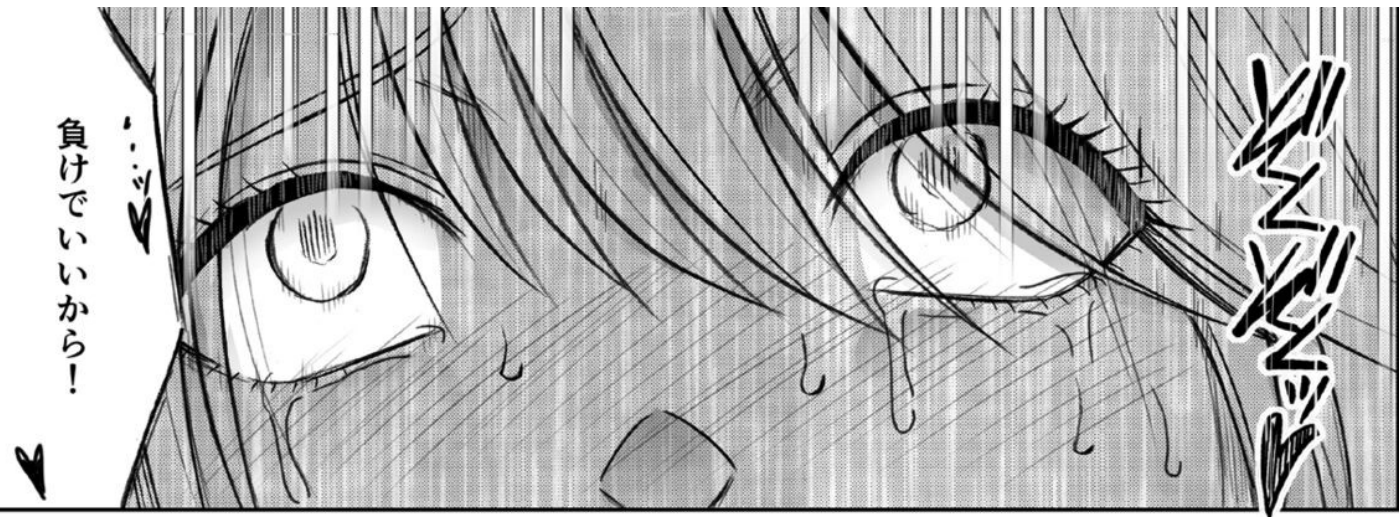
カグヤちゃん

こんなはずじゃ
なかったのに…!!

カグヤちゃん
完全に快感に
負けちゃったかな?

ズンズンズン

カグヤ



負けでいいから！

ズズズズ



ズズズズ

グググ

グググ

早く
ナカに……！

ナカに出して……！



いいねえ
そのおねだり

始めの時とは
全然ちがうねえ



グググ

グググ

おじさんの
チ○ポに
完全敗北した
カグヤちゃんの
おま○こに

溜まりに溜まった
精液を
注ぎ込んであげよう

たっぷり
ガマンした分だけ

サイコーの
中イキを
味わえるよ？

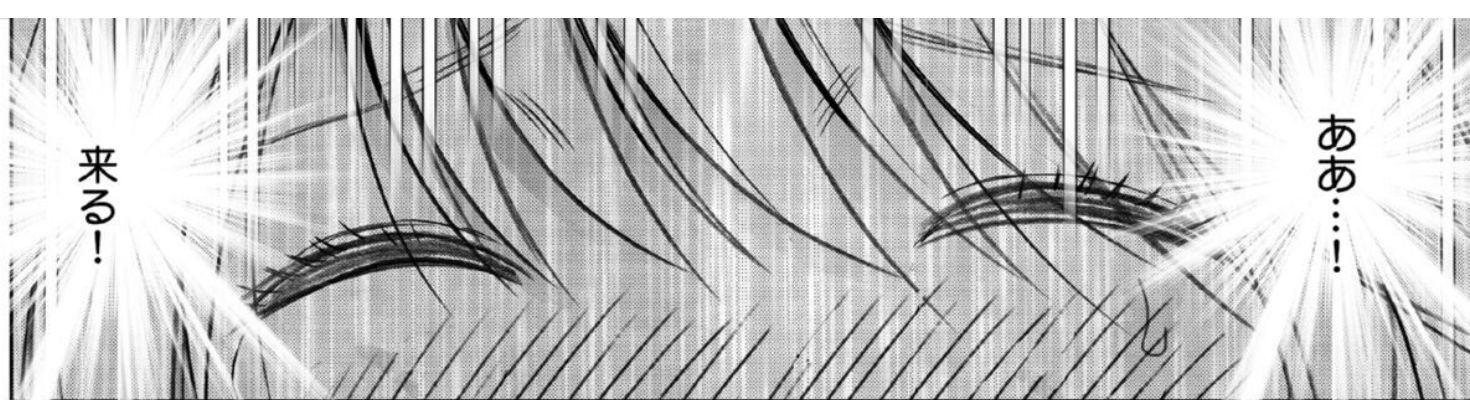
グキョ

グキョ

びく

びく

びく



ああ…!!

来る!



ナカで大きくなって…!!

ナカが
ギュウギュウ
締め付けてきてるよ?

そんなに
出してほしかったんだね

さあ
出すよ…!!



出される…!!



出される…!!





中に……!

出さねてる……!!

ふっ
ぽん

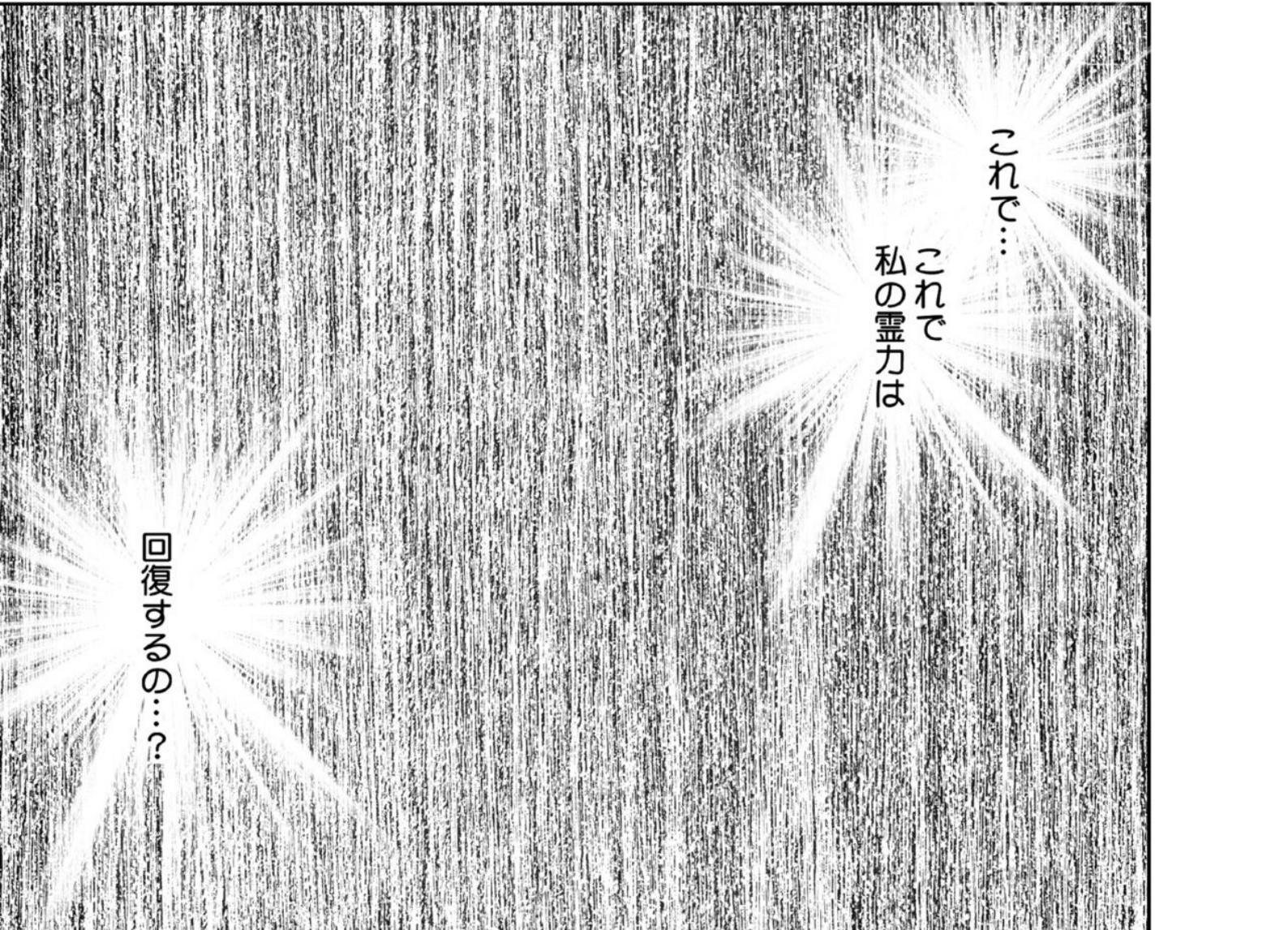
ふっ
ぽん





終わった…

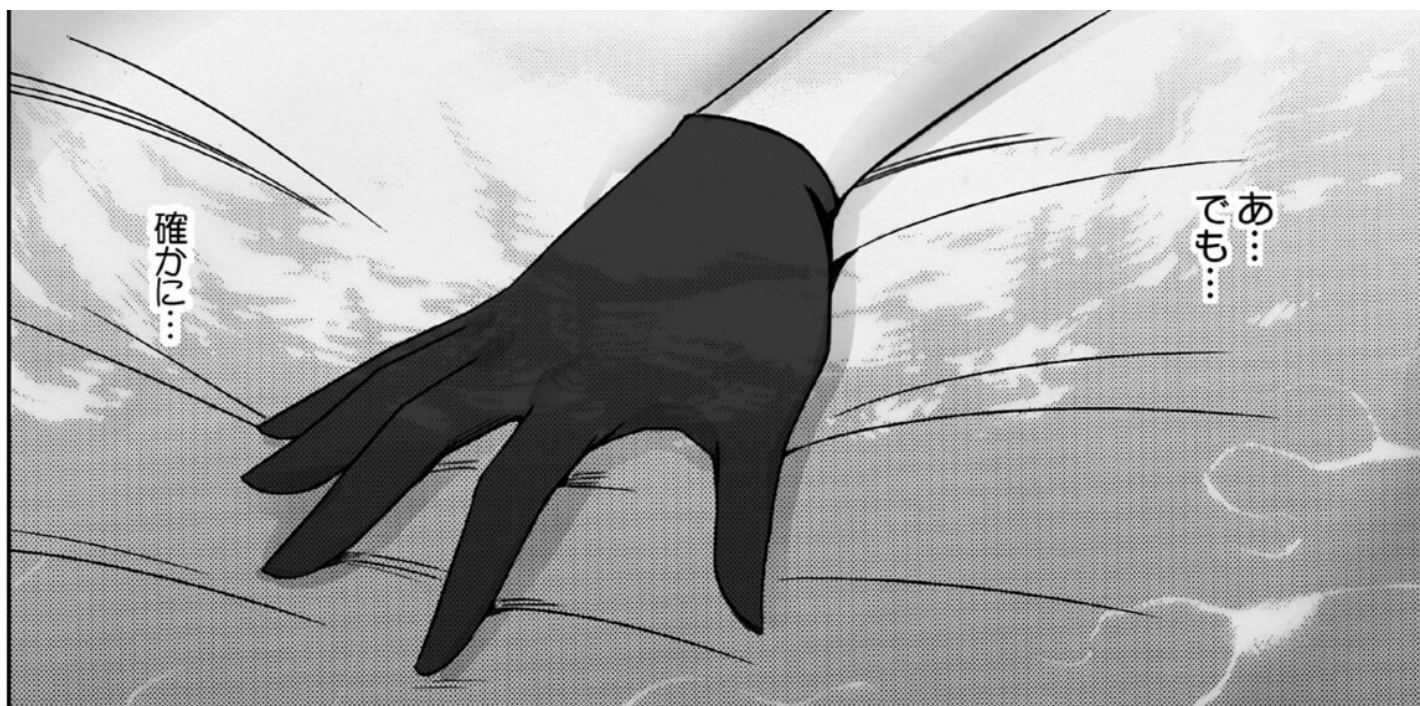
中に…精液が…



これで…

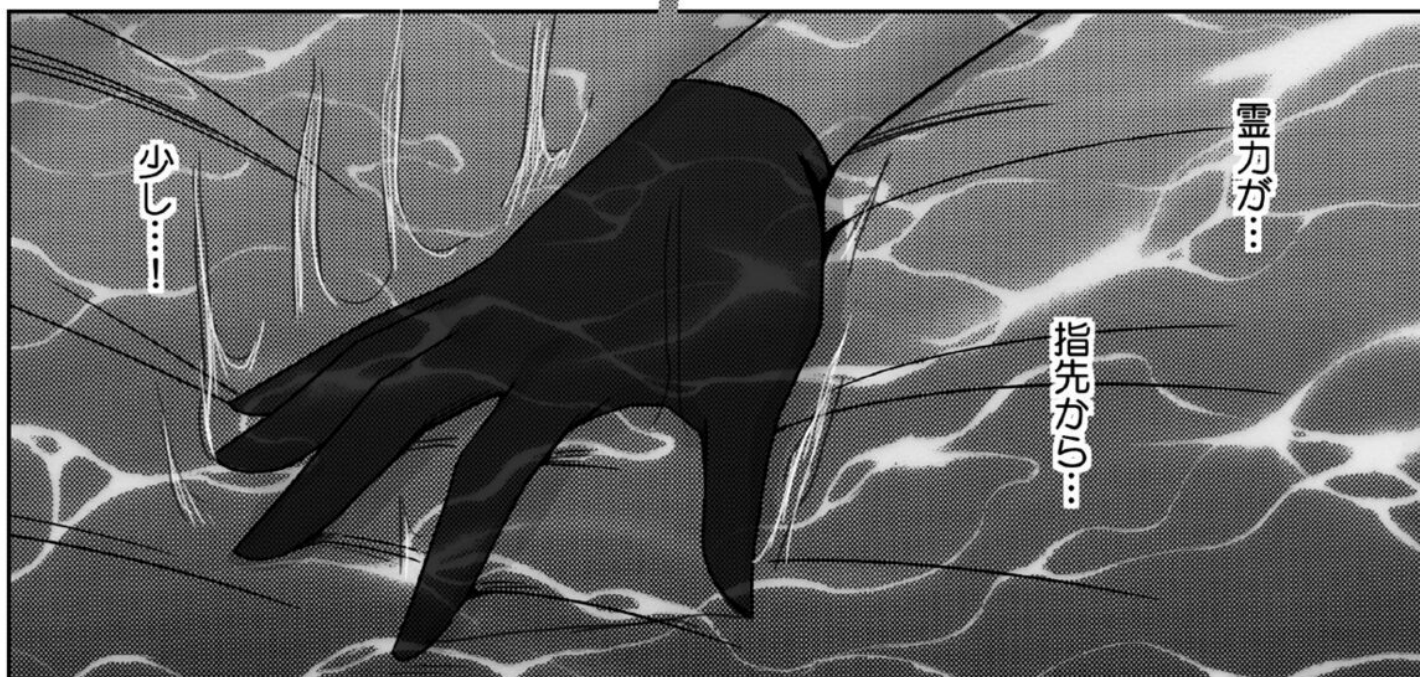
これで
私の霊力は

回復するの…？



あ…
でも…

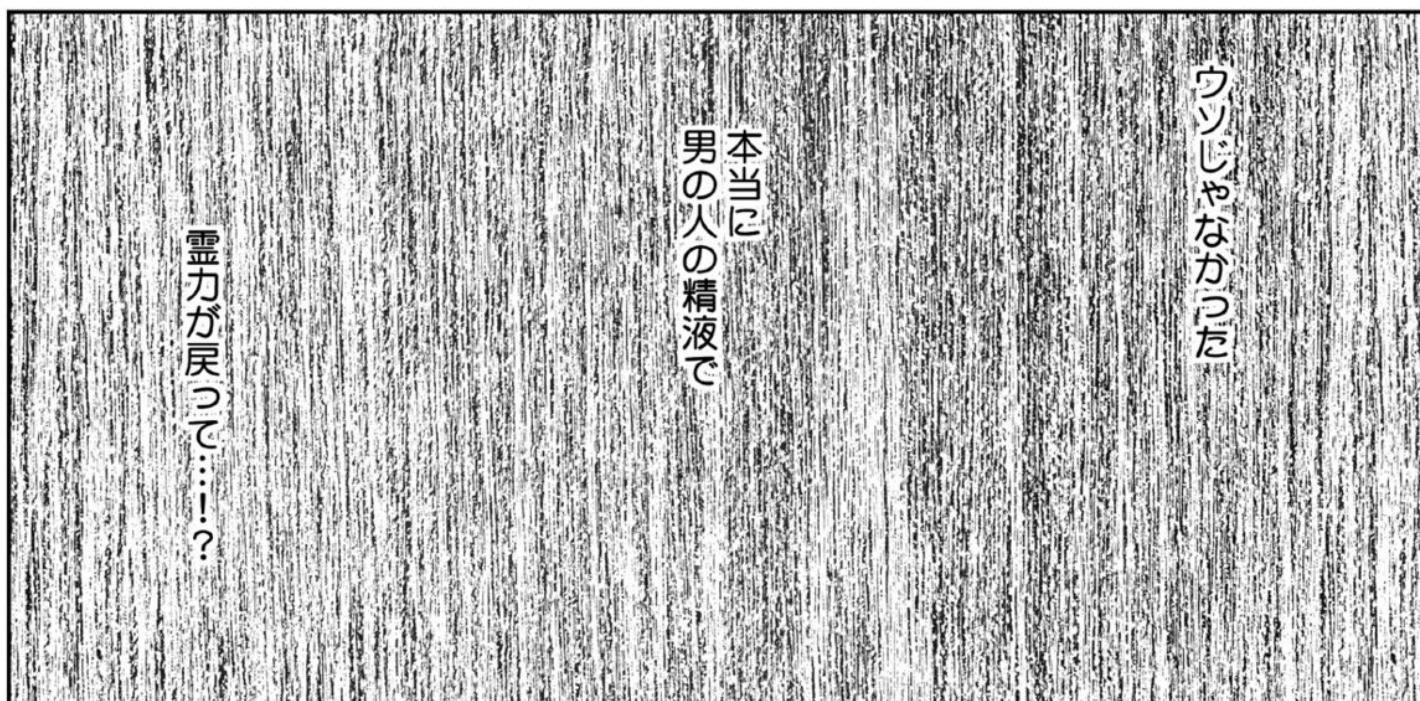
確かに…



霊力が…

指先から…

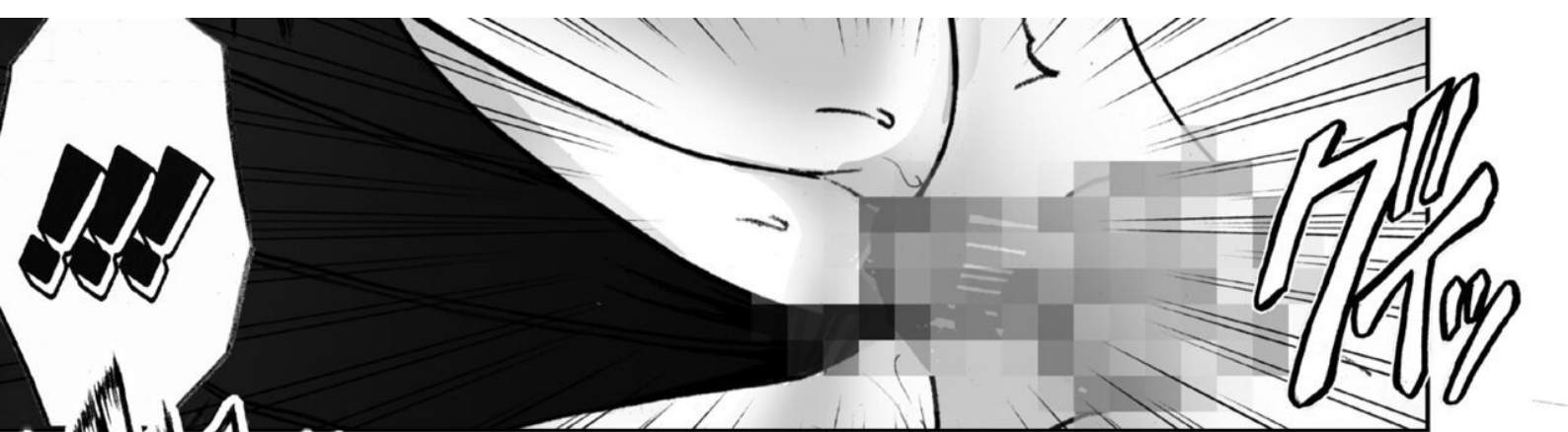
少し…!!



ウツじやなかった

本当に
男の人の精液で

霊力が戻って…!?





んん？
どうしたの
カグヤちゃん

さっきまで
あんなに
ナカに出て
欲しいって
言ってたのに

一発出したら
それで終わり
でいいの
かい？



もっともっと
出してあげるよ



遠慮する
ことはない



もういい！

サッ！

あッ！

もう霊力も
戻って
きてるし……！

これ以上は
この人と
セックスする意味なんで

カグヤちゃんの
スケベボディになら
まだまだ
出せちゃうよ♪

何もないのに……！





気持ちよすぎて……！

……あッ

逃げられない！



際限なく
イカされ続けるッ！



二回
中に出されて…

まだ
終わらせて
もらえず…

たしかに
霊力は
少し回復して
きていた

それでも



[illegible]

これまでの過程で
イカされすぎて
カラダをおかしくされていた
私は

『命令』の呪いからも
快樂からも
逃れることができず

まるで
杭を打たれたかのように
挿入された男根で
固定された下半身を
支配された状態で

再び
さまざまなおモチャを
使われて
イカされ続けて…

ほあ

ほあ

ほあ

よしよし

ちやーんと
途中で逃げずに
最後まで
セックスをできたね

偉い偉い

じゃあ
最後に
おモチャのスイッチ
いっせいにONにして
イッたところで

ナカに出して
フィニッシュにして
あげるからね

オモチャ



ああ…ダメ！

ダメッ！

ダメッ！

ダメッ！

ダメッ！



イクウウッ!

びゅん

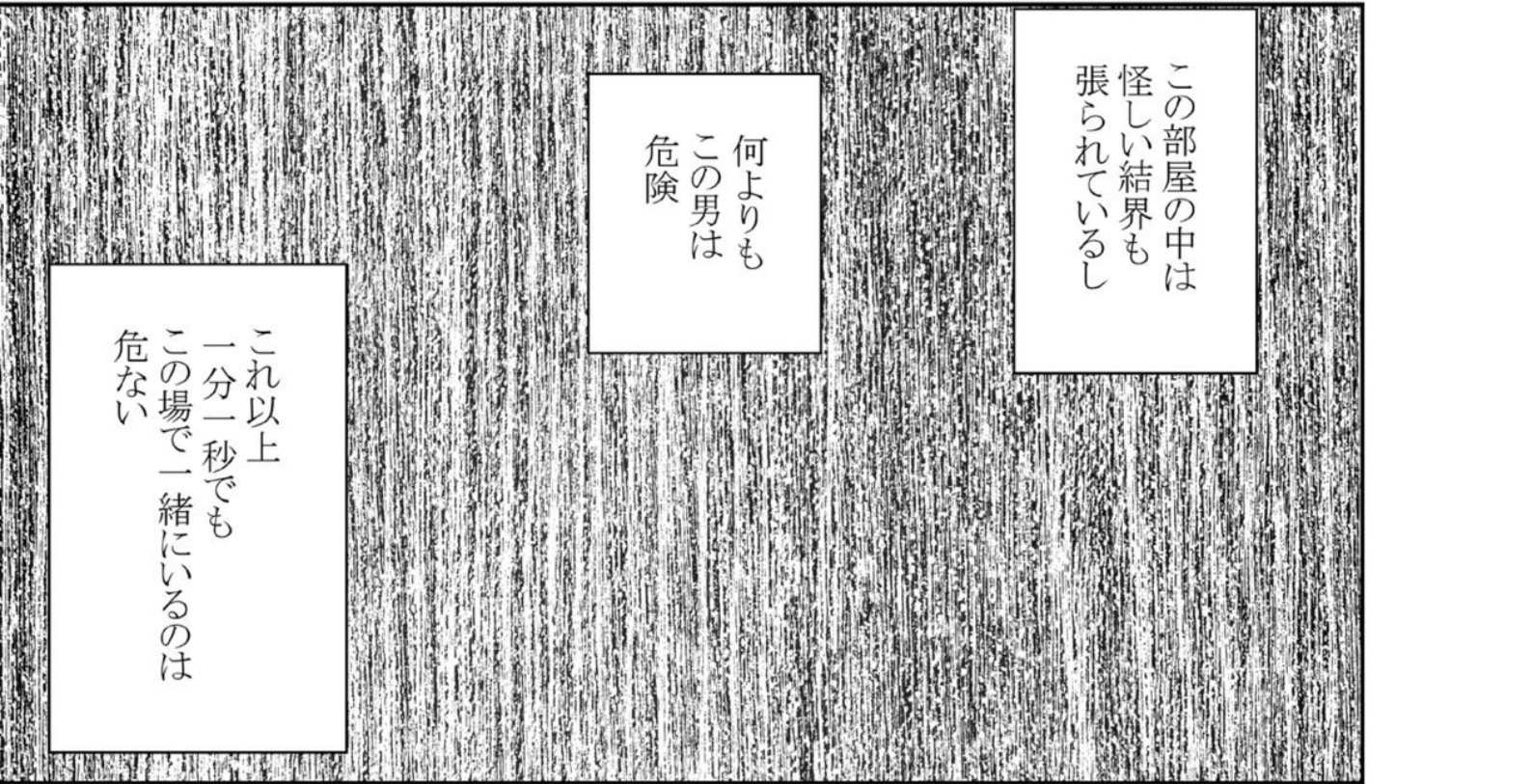
びゅん



結局
15時から
10時間近く…

終わったのは
深夜の1時で

そこで
ようやく
解放され…



この部屋の中は
怪しい結界も
張られているし

何よりも
この男は
危険

これ以上
一分一秒でも
この場で一緒にいるのは
危ない



そう感じた私は

着替えもせずに
一目散に
ホテルから逃げ出して…

なんとか
その男から
逃げる事には
成功したけど…

そこは
夜の繁華街

そこで私は
今まで見たことも
ないような

最悪な敵と
遭遇することに
……

